

令和7年度（七里ガ浜高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
①法令遵守意識の向上	教育公務員としての自覚を持ち、社会人としてのマナーやモラルを踏まえた行動をとり、信用失墜行為を防止する。	不祥事防止研修を実施し、具体的事例や行動チェックを通して、教育公務員としての自覚を再認識させ、自身の行動を振り返る機会とした。また、職員会議や朝の打合せ時等に綱紀保持等の情報について特に周知等することで、法令遵守意識について認識を深めることができた。
②職場のハラスメントの防止	職員一人ひとりが、ハラスメントの意味を理解し、防止及び排除に取り組む。	不祥事防止研修でハラスメントについての理解を深め、他者の人権を尊重する意識を醸成した。また、具体的事例を通してハラスメントの防止について実践する態度を養った。
③生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ・セクハラ行為の未然防止に当事者意識を持って取り組む。	不祥事防止研修等において、事案が発生しやすい状況について知り、日常的にそれらを排除できるよう、意識を高めた。また、綱紀保持通知等により職員相互の危機感を共有するなど、当事者意識を高めることができた。
④体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を保障し、体罰や不適切指導、不適切発言を未然に防止する。	人権研修や不祥事防止研修等において行動チェックを実施し、自身の言動の傾向を知ることで、体罰や不適切な指導の未然防止へとつなげた。また、同時に周囲の者がとるべき態度について知ることで、同僚の体罰や不適切指導への防止に役立てた。
⑤入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理、調査書、推薦書等の発行におけるルールを徹底しミス根絶する。	入学者選抜の業務について職員全体でマニュアルを読み合わせ、作業手順と点検手順等について入念な確認を行うとともに、リスニング不測事態への対応についても、複数回シミュレーションを実施した。また、定期テスト欠席者への答案の返却方法については、使用するファイルを決めるなど、作業上のルールを徹底することで誤廃棄を防いだ。
⑥個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報等の取扱いには細心の注意を払い、流出や紛失を防止する。	不祥事防止研修で啓発点検を行うとともに、教務手帳や出席簿などの管理を徹底するとともに、暗号化ファイルの適正な使用を推進した。校外学習等の際には個人情報持出票の提出を徹底するなど、職員の意識を高めた。
⑦法令遵守意識の向上	教育公務員としての自覚を持ち、社会人としてのマナーやモラルを踏まえた行動をとり、信用失墜行為を防止する。	不祥事防止研修で自らの行動と意識をチェックするとともに、どのような場合に交通事故などが起きたか事例を知ることで注意すべき点を再認識させた。

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

機会あるごとに職員に対して不祥事防止の研修や事例を周知し、意識して行動するよう注意喚起を継続した。成績処理では小テストの扱いについて生徒保護者に丁寧に説明するなどの対応をしたことにより不祥事ゼロであった。次年度も引き続き、不祥事防止の研修や職員間の良いコミュニケーションの醸成、緊密な情報共有等により不祥事防止に取り組みたい。